

「6次産業化」ってなあに？

「6次産業化」は、農林漁業本来の1次産業だけでなく、2次産業（工業・製造業）・3次産業（販売業・サービス業）を取り込み、それによって農林水産業を活性化させ、農山漁村の経済を豊かにしていこうというもので、1次×2次×3次=6次の掛け算に由来しています。

県では、農林漁業者などが行う加工や流通・販売などの取組を積極的に支援するため、平成24年度に「青森県6次産業化

サポートセンター相談窓口」を青森市第二問屋町に開設。主に、6次産業化に関する相談受付や情報提供、また、相談内容に応じて、民間の専門家を無料で派遣し、6次産業化につながる取組を発掘・事業化しているほか、「6次産業化法」に基づく「総合化事業計画」の作成の指導などを総合的に支援しています。

また、農林漁業者と食品加工業者、流通販売業者が連携した「地域の6次産業化」の取組も推進しています。

これぞ、青森の底力！
世界に誇るピカイチの食と
それを支える情熱人！

青森県は、津軽平野や三本木原台地にひらかれた広大な農地、三方を囲む外海と陸奥湾の漁場など、農林水産業に適した地理的条件に恵まれています。また、世界自然遺産白神山地をはじめとした緑あふれる自然環境に育まれた「きれいな水」と「健康な土」、そしてそこで働く「元気な人」が、本県の強みとなり、安全・安心で高品質な農林水産物の生産を支えています。

県では、青森にとって経済の基盤となる農林水産業を元気にするため、優れた農林水産物や加工品を強力に売り込んでいく「攻めの農林水産業」を推進する中で、消費者が求める安全・安心で良質な県産品づくりをはじめ、生産・加工・流通・販売に携わる関係者との連携・協働による「地域の6次産業化」の推進など、さまざまな角度から未来を切り拓く、経営体の育成に取り組んできました。

その結果、地域資源を活かした新商品が生まれ、農山漁村では、チャレンジ精神にあふれ、高い経営力を持った人材がどんどん育ってきています。

収穫の季節を迎える今、産直施設の店頭には、その地域ならではのこだわり野菜や果物がたくさん並びます。そして、笑顔がすてきな地元愛にあふれる人たちが迎えてくれます。また、地域でがんばるキラリと光る人たちが運営する農家レストランや農カフェ、農家民宿など、農山漁村には、まだまだ知られていない魅力的なスポットがたくさん。

ご当地グルメも、県内各地でぞくぞくと誕生しています。お気に入り逸品やおもりの「食」と「暮らし」を支える情熱あふれる生産者たちとの出会い・交流を求めて、農山漁村を訪れるなど、食欲の秋を満喫しませんか。



特集 地産地消で農山漁村を元気に！

あおもりの食と暮らしを支えるチカラ

青森の大自然に育まれた、高品質な農林水産物。そして、それらの地域資源を生かし、さらに青森を元気にしようと奮闘する人たち。県では、農林水産業に従事する人たちの挑戦を応援するために、さまざまな支援を行っています。